



究極を超え絶対死をもたらす《人間兵器》
人は奴を《リーサル・ウェポン》と呼ぶ!

メル・ギブソン

ダニー・グローバー

リーサル・ウェポン

MEL GIBSON LETHAL WEAPON DANNY GLOVER

ワーナー・ブラザーズ映画提供 メル・ギブソン ダニー・グローバー シルバー・ピクチャー・プロダクション リチャード・ドナー作品 "リーサル・ウェポン" ゲーリー・ビシー

編集 スチュアート・ヘアード 美術 J・マイケル・リバ 撮影監督 スチーフン・ゴールドブラッド 音楽 マイケル・カーメン & エリック・クラプトン

DOLBY STEREO
FOR SELECTED THEATRES

オリジナル・サウンドトラック ワーナー・バイエス・レコーズ 脚本 シェーン・ブラック 製作 リチャード・ドナー & ジョエル・シルバー 監督 リチャード・ドナー

WARNER BROS. PICTURES
A WARNER GROUP COMPANY

◆かいつ

「マッドマックス」シリーズで世界のドギモを抜いたアクション・ヒーロー、メル・ギブソン。「スーパーマン」(「グリーニズ」)の超大ヒットで、揺るぎない信頼を得る監督リチャード・ドナー。現有映画界最強のドル箱コンビが、いま、とてつもないハード・アクションに挑んだ!

「リーサル・ウェポン(人間兵器)」——それは、L A市警内外にその名も高きスーパー・コップの異名。他の刑事なら怖気をふるいような危険な任務にあえて飛び込み、無類の殺人テクニクで悪をセン滅する。麻



◆(究極)を過激に越えてリーサル・アクションは今、全開!

クリスマスも近いある夜、一人の若い娼婦が墜落死した。

マーチン・リッグス刑事(メル・ギブソン)はいつものように、むなし朝を迎えていた。ベトナム帰りの彼を支えてくれた最愛の妻を自動車事故で亡くして以来、生きがいをなくしてしまった彼は、自殺志願の危険な男になっていた。もともとベトナム戦争のためにC Aが特殊訓練をした殺人部隊の生き残りだっただけに、マーチンは警察内部でも「リーサル・ウェポン(人間兵器)」と呼ばれ、最も危険な事件への最後の切

薬課から殺人課へ——まるで死を欲しているような激烈な捜査ぶりを買われて、戦いの最前戦へ舞い降りた男、そいつの名はマーチン・リッグス。ロジャー・マータフ。50の坂にかろうとするL A市警殺人課のベテラン黒人刑事。濃厚篤実な勤務ぶり、評価の家庭人だった、が……

2人の刑事が、ひよんなことからチームを組まれることになった。磁石の両極のように原発し、憎み合いながらも危険の火中へ飛び込んでいった2人の男。敵はL Aを震撼させた麻薬組織。だが、捜査の過程で、

マータフの愛娘が敵の人間に奪られてしまった。凄まじい銃撃戦の中でも無表情に応戦する人間兵器。その時、マータフにとって頼れる男は、リッグスをおいて他になかった。キャストは、刑事リッグスに「マッドマックス」シリーズの他、最近では「ザ・リバー」「燃えつきるまで」といった作品でも演技力の幅の広さを見せつけた好調メル・ギブソン。リッグスとはすべてが対照的なパートナー、刑事マータフに「ブレイス・イン・ザ・ハート」「シルバード」「カラ・パープル」など躍進めざましい硬派黒人スター、ダニー

札として使われて来ている。死にたいと思いが危地に飛び込むのだが、身体に染みついた闘う男の本能が彼を生か残らせてしまうのだった。

一方、50才の誕生日を家族に祝福されたロジャー・マータフ部長刑事(ダニー・グローバー)は、マジメで濃厚な理想的な警察官だ。温かい家庭を持ち、定年も間近い今日まで幾多の難事件も解決してきた筋金入りだ。そんな2人がチームを組むことになった。墜落死した娼婦の背後には、

グロバーが扮し、絶妙のハードボイルド・コンビを形成。

これに「ビッグ・ウェンズデー」「マリリンとアインシュタイン」のゲリー・ビジー、麻薬組織の殺し屋として、イメージ一新の悪役に挑む他、「ダーティハリー2」のミック・チェル・ライアン、「ニューヨーク1997」のトム・アトキンス、ブロードウェイの黒人名花ダリー・ラップ、褐色のモデル出身のトレシー・ウルフラが好助演を見せている。新鋭ライター、シェーン・ブラッックのオリジナル脚本を得て、娯楽映画の職人リチャード・ドナーが初の現代アクションに挑戦。「コマンド

◆見逃せないエキサイト・ポイント

見逃しただけと見逃してはいけないアクション・エキサイト・ポイントのごく一部をお届けします。アクション映画はこまかいリアルなディテールの積重ねだ。その辺りをリチャード・ドナー監督は職人芸を見せてくれる。

●ポイント1

役者はただ殺られる演技をしているだけでない。街で聞込み中の、メルがショットガンで撃たれるシーンがある。あの時、彼はスコイ事にショーウィンドウのガラスにぶつ飛びながら、右手でベレッタを抜いている。本能的に反撃する事が体にプログラムされている。だから、気がついた時に、直ぐに敵を求めて、ベレッタを街路に向けている。

●ポイント2

シューティングの新旧の思想の違いが見れる。室内シューティング・レイジのシーン。ダニーはS&Wでマンターゲットの胴体にバラバラに打込んでいく。さらに、抜き撃ちで、一発で眉間をプチ抜いて満足している。ウー、あんなは古い。

」の製作者ジョエル・シルバーが全篇に目配りしている。

また音楽は「上海サブライズ」「マジック」の売れっ子マイケル・カーメント、ロック・ギターの第一人者エリック・クラプトンが共同で当たり、クラプトン、アルトサックスのデビッド・サンボーンらがゴージャスなサウンドを聞かせていることも話題。

スーパー刑事によるハード・アクションが横行する中で、それらすべてを蹴散らす興奮と面白さを備えて登場した「リーサル・ウェポン」。87年娯楽アクションのまさに切り札的存在となりそうだ。

小峰隆生

〈映画批評家〉

それに対して、メルはマンターゲットには胸と頭に均等にヒットさせている。抜き撃ちではかならず、一度に2発以上、発砲している。昔は敵を一発で倒すのが良いとされていたが、最近は麻薬の常習者の中には心臓をぶち抜かれても、まだ死なないゾンビー人間が実際にいる。薬で感覚が麻痺して痛感がない。そのために、胸にヒットしたので、安心して近付いた警官が逆襲をうけ死亡するケースが増えた。こんな、ドキチガイ野郎をブツ殺すには、頭を撃つ、ヘッドショットしかない。だから、メルのように胸と頭に撃ちこむのがいい。普通は胸に2発、頭に1発撃つ。または2発ずつ。1発では確実ではないので、2発ぶち倒すより、いかに短時間に多数の弾を撃ちこむことが有利とされている。



13(土)ロードショー 特別鑑賞券 一般 ¥1200 / 学生 ¥1100 発売中!

地下鉄東銀座下車	伊勢佐木町3丁目・オデオンとなり	川崎駅東口・チネチッタ 川崎グランド1改め
松竹 セントラル (541)2714	横浜 ピカデリー 045(261)2886	川崎 チネグランデ 044(211)6125
上映時間(3館共通) 日・祝 10:00 平日 12:00 2:15 4:30 6:45		